

# 広陵町教育委員会だより

令和元年 10月号

10月20日発行

広陵町教育委員会

北葛城郡広陵町南郷583-1

TEL0745-55-1001 文責・編集 植村



## 秋の田の 穂向きの寄れる 片寄りに

我れは物思ふ つれなきものを

(10月の万葉集)

秋の田の稲の穂が実って垂れているように、私はあなたのことだけを想っています。あなたは知らないふりをして  
いるけれど 万葉集 巻10-2247 作者不詳

## 「もったいない」をいつも頭の片隅に！

秋と言えば、皆さんはどのような「秋」を思い浮かべるでしょうか。「芸術の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「爽りの秋」「食欲の秋」などいろいろな「秋」がありますが、あえて、ここでは「食欲の秋」にちなんで「もったいない」という言葉について考えたいと思います。

「もったいない」と言う言葉はどんなときに使われるのでしょうか。お金を無駄遣いしてしまったとき、まだ使えるノートや鉛筆を新しいものに替えたとき、まだ着られる服を処分したとき、出された料理が食べきれずに残ってしまったときなど、いろいろな「もったいない」を経験していることと思います。

この「もったいない」という日本語を世界に通じる言葉にしようとした人がいました。その人は、環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニアのワンガリ・マータイさんという女性です。マータイさんが、2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。環境 3R + Respect = もったいない Reduce (ゴミ削減)、Reuse (再利用)、Recycle (再資源化) という環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するRespect (尊敬の念)が込められている言葉として、マータイさんはこの美しい日本語を環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。そして、さまざまな国際会議で「もったいない」という言葉とその意味を全世界に発信しました。いまや海外の人々も使うようになってきています。

ところで、最近マスコミにもよく取り上げられている社会問題に食品ロスがあります。

日本国内における年間の食品廃棄量は、食料消費全体の3割にあたる約2,800万トンで、このうち、売れ残りや期限を超えた食品、食べ残しなど、本来食べられたはずのいわゆる「食品ロス」は約632万トンとされています。これ

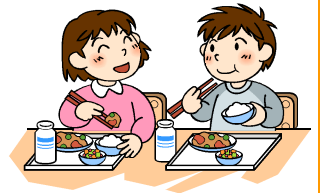


は、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量(平成27年で年間約320万トン)を倍ほどに、大きく上回る量です。また、日本人1人当たりで換算すると、「お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

国では今年、5月24日、「食品ロスの削減の推進に関する法律」(略称:食品ロス削減推進法)が成立し、5月31日、法律第19号として公布しました。この推進法は、消費者や事業者への知識普及や啓発のほか、政府や自治体にも食品ロスを削減する努力義務を盛り込んだもののようです。

それからもう一つ、考えてほしい「1日に24,000人」という数字があります。この数字は何を表しているのでしょうか。これは、世界中で食べるものがなくて亡くなってしまふ子どもの数です。10分間で約160人、1時間で約1,000人も尊い命が失われているというのが現実です。今、日本では、食べ物がなくて命を失う子どもは減多にいません。お金さえ出せば、いつでも何でも何不自由なく食べることがができます。

その一方で、上述したように日本は世界で一番食べ物を無駄に捨てている国だと言われています。食べるものがなくてかけがえのない命を失ってしまう子どもたちに、ゴミとして捨てられるその食料を分けることができないかと考えてしまいます。本当に必要な食料だけを買う、平気で食事を残したり捨てたりしないという「もったいない」精神を発揮すれば、日本の国一つだけで食べ物がなくて亡くなってしまふ全世界の子どもたちを救うことができると言われています。学校における給食の時間に、そして家庭での食事や職場での弁当などを食べる時、世界の子どもたちに想いを馳せてみては……と思います。

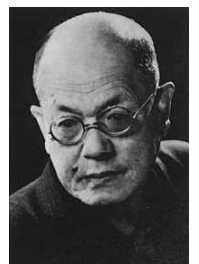


## 今月の一言

「他人の位置に時々自分をおき、自分の位置に他人をおき、他人の気持ちを察し、小我をのさばらすな」

武者小路 実篤

他人の気持ちを考えるために「相手の立場に立ってみる」ことは、ひいては自我を抑えることにもつながります。人間、どうしても忘れてしまうポイントなので、常に立ち返りたい視点だと思えます。



裏面へ

# 学校から



**今回は、運動会・体育大会の特集です！**

各学校長より一押しの写真とコメントをいただきました。

## 広陵東小学校

広陵東小学校の伝統である金管バンドは、今年も健在！6年生50名全員によるマーチングは、地域の皆様や保護者の皆様に見守っていただき、素晴らしい演奏を披露してくれ



ました。今年の体育大会のスローガンは、『令和元年 最強の絆 東っ子の底力で勝利をつかめ！』子どもたちは様々な場面で東っ子の底力を発揮し、みんなにたくさんの感動を与えてくれた思い出に残る体育大会となりました。

## 広陵西小学校

『頑張れ 四色の西っ子 ゴールに向かって一直線』をスローガンに、『する・見る・支える』の運動会への3つの関わりにおいて、西っ子全員が団結して全力を出し切った素晴らしい運動会でした。ご声援ありがとうございました。右の写真は6年生の『マーチング メドレー&パブリカ』の発表風景です。



## 広陵北小学校

組立体操「Cool!」(5.6年生)



「心を一につにかっこよく演じよう！」と力を合わせてがんばりました。素晴らしい出来栄に観客からは大喝采をいただきました。

## 真美ヶ丘第二小学校

5年 「ZENSINあるのみ！みかぐら2019」



東北地方の神楽がルーツの踊りです。太鼓のリズムに合わせて力強く、優美に舞ってくれました。

## 広陵中学校

「いい体育大会にしよう！」を合言葉に生徒・教職員が一つになり、10月2日(水)に第61回体育大会を開催しました。



生徒たちは、競技や演技に真剣でひたむきに最後まで諦めず取り組み、さわやかで盛り上がりある「いい体育大会」を創り上げました。

地域や保護者の皆様にご協力・サポートしていただきました。ありがとうございました。

## 真美ヶ丘中学校

競技や演技で練習の成果を十分に発揮し、スローガンである『冠然燃笑』を達成できた素晴らしい体育大会になりました。



男子集団演技 ボディスラップの1場面

※ 真美ヶ丘第一小学校は5月の開催だったので掲載はしていません。ご了承ください。